

広報

# しいば



高齡者が生きがいの持てる村へ  
木工芸の名人 椎葉治美・松子さん夫妻（本郷）

# 高齢者が生きがいの持てる村へ

## 椎葉村

# 「シルバー人材センター」 設立

高齢者の働く場の確保と生きがいの持てる村の実現を目指し、今年度「シルバー人材センター」が設立されました。同センターでは、臨時的かつ短期的な就業機会を通じて、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりを目指します。

## 超高齢化社会へ突入

我が国では5人に1人、本村では3人に1人が65歳以上という本格的な高齢化社会を迎えています。世界でも有数の長寿国となった日本。同時に健康で活動的な高齢者が多くなってきました。

高齢化率34%を超える本村においても、長い人生をいかに健康で、生きがいと喜びを持って過ごせることが出来るかということが、大きな課題となっています。

## 始動 「シルバー人材センター」

そこで、本村ではこの解決策として「働くこと」をあげ、今年3月に社会参加と生きがいの持てる村の実現を目指した椎葉村シルバー人材センター設立準備委員会（椎葉征雄会長 委員10人）を発足。関係者が一体となって協議と準備を進めてきた結果、7月27日、保健センター「すこやか館」



で同センター設立総会が行われました。総会には、関係者のほか事前に募集した会員17人も出席。会員規約や就業規則などを定めるなど、今後の事業計画についても協議しました。

少子高齢化が進む本村で、高齢者の経験と能力を活用した就業は地域活性化につながるだけでなく、共に助け合う生きがいの持てる社会を形成できると大きな期待が寄せられています。

## シルバー人材センターの内容について

シルバー人材センターは、健康で働く意欲のある方が集まる自主的な会員組織です。同センター事務局で、仕事の発注者と会員の連絡調整、会員の知識・技能向上のための研修会などを行うので、安心して活動することができます。運営システムとしては、同事務局が企業・家庭・公共団体等から引き受けた仕事を会員に連絡・提供し、登録された会員がその仕事を行います。また、業務分野を事務・技能・一般・サービスの4つに区分

し、それぞれの仕事内容や作業時間によって定められた単価のもと、手当が支給されます。なお、就業において万一事故等が発生した場合は、入会時に加入する「傷害補償保険」で対応します。

## 会員及び仕事を募集しています

同センターでは登録会員を募集しています。対象となる方は、椎葉村に居住するおおむね60歳以上の健康で働く意欲のある方で、活動目的をよく理解していただける方です。興味のある方はぜひご連絡ください。

また、仕事を提供していただける企業や団体、個人の方につきましても、どんなことでも結構ですので気軽にご連絡、お問い合わせください。農作業や青果物の箱詰め、椎茸採り、清掃や草刈り作業など簡易で臨時・短期的な仕事をお手伝いします。

### 問い合わせ先

村社会福祉協議会

(☎671-2275)

村福祉保健課 福祉係

(☎681-7513)

# 椎葉村高齢者長寿番付



## 男性

1位	甲斐福次郎さん	雨 木	100歳
2位	那須 利市さん	尾田山中	97歳
3位	那須傳左衛門さん	古枝尾上	97歳
4位	椎葉 瀧平さん	合 戦 原	97歳
5位	椎葉 武さん	横 野	96歳
6位	椎葉 喜蔵さん	不土野上	95歳
7位	中瀬 良雄さん	狩 底	94歳
8位	荒竹 福彌さん	岩屋戸上	93歳
9位	黒木 貞男さん	平 寿 園	92歳
10位	日隈 惣七さん	平 寿 園	92歳



## 女性

1位	鹿瀬 イワさん	平 寿 園	100歳
2位	黒木タマヨさん	柵 尾	100歳
3位	松岡 サンさん	下 松 尾	99歳
4位	甲斐ヨシノさん	水 越	98歳
5位	那須チヨウさん	畑・鳥の巣	97歳
6位	那須フジノさん	平 寿 園	97歳
7位	椎葉チエカさん	向山日添	96歳
8位	那須サカエさん	夜 狩 内	96歳
9位	椎葉 玉枝さん	中ノ八重	96歳
10位	椎葉アキノさん	上椎葉下1	96歳

※同年齢については生年月日の順。(8月末現在)

## 9月18日は「敬老の日」 「椎葉村高齢者福祉まつり」を開催!

■と き 平成18年9月18日(月)

■と ころ 椎葉村民体育館

■内 容 健康・介護保険・福祉等各種相談、高齢者作品展示、記念品贈呈、事例・体験発表、アトラクション(大正琴・日本舞踊)、公演(ハワイアンバンド・薩摩の猿回し劇場)

# 10月1日(日)は 事業所・企業統計調査の日です



忙しく働く方々のことを考えて、調査は分かりやすくカンタン!!  
日本の未来のために、大切な調査へのご協力をお願いします。

## ■調査日について

平成18年10月1日です。9月下旬から調査員が皆さんの事業所にお伺いし、調査票をお渡しします。10月1日以降、調査員が記入していただいた調査票を回収に伺いますので、お渡しください。

なお、調査員は知事発行印を捺した調査員証を携行しています。ご疑問のある場合は、調査員証をご確認ください。

## ■対象となる事業所

すべての事業所が調査の対象です。ただし、個人で農業・林業・漁業を営んでいる方などは除かれます。

## ■調査内容

すべての事業所や企業の状況を明らかにするため、事業の内容、従業者数、経営組織など、基本的な項目を調査します。調査の結果から、日本の産業構造などの移り変わりが分かります。

## ■問い合わせ先

椎葉村企画観光課 広報統計係 (☎67-3203)

## 国民年金ニュース「保険料の免除と納付猶予」

第1号被保険者で、保険料の納付が著しく困難な場合は、免除や納付猶予の制度があります。

### 法定免除

免除の事由に該当している期間について保険料が全額免除になります。

- ①生活保護法による生活扶助を受けている人
- ②障害基礎年金または、被用者年金の障害年金(1級・2級)の受給者

### 申請免除

失業等の経済的理由で保険料を納めるのが困難な場合は免除制度がご利用いただけますが、一定の所得基準を満たしていることが必要です。

### 対象となる人

- ◎前年の所得(収入)が少ない人
- ◎退職した人
- ◎倒産・事業の廃止、天災などにあった人
- ◎障害者または寡婦であって、前年の所得が一定額以下の人
- ◎生活保護法による生活扶助以外の扶助を受けている人

### 平成18年度申請免除の所得基準のめやす

世帯構成	全額免除	3/4免除 1/4免除	半額免除 半額納付	1/4免除 3/4納付
4人家族 (夫婦、子2人)	162万円	230万円	282万円	335万円
2人世帯 (夫婦)	92万円	142万円	195万円	247万円
単身世帯	57万円	93万円	141万円	189万円

### 申請免除が2段階から4段階へ(平成18年7月から)

免除の種類	①全額免除	②3/4免除	③半額免除	④1/4免除
納める保険料 (月額)		1/4(3,470円)	半額(6,930円)	3/4(10,400円)

### 申請免除の期間

承認される期間は、毎年7月から翌年6月までです。

全額免除以外は申請により承認を受けても上記の保険料を納めないと免除となりません。

■問い合わせ先 村税務住民課 住民係 (☎67-3205)

# 「こうなっています！介護保険の保険料」

## Q&A

### Q. 介護保険の保険料は、いくらになっているの？

A. 平成18年度の保険料は、次のように所得に応じて6段階に分けて決められています。平成20年度までこの保険料は変わりません。

所得段階		率	保険料(年額)
1	老齢福祉年金の受給者等	4分の2	21,200円
2	村民税非課税者で合計所得が80万円以下	4分の2	21,200円
3	世帯全員が村民税非課税で1・2以外の人	4分の3	31,900円
4	本人非課税だが同一世帯に課税者がいる人	4分の4	42,500円
5	合計所得金額が200万円以下の人	4分の5	53,200円
6	合計所得金額が200万円以上の人	4分の6	63,800円



### Q. 保険料はどうやって納めればいいのか？

A. 次の表をご覧ください。年金から差し引かれて納付される特別徴収の方（年金受給者）と納付書によって納付される普通徴収の方（年金をもらっていない方）とに分かれます。特別徴収の方が6期、普通徴収の方は10期で納めていただくことになっています。

例えば、年金をもらっている特別徴収の方で所得段階3の31,900円の保険料の場合、1期目が5,400円、2期～6期までが期毎に5,300円が年金から差し引かれます。これで自動的に納付したことになるわけです。

年金の人	(特別徴収)	年6期	1期	2期	3期	4期	5期	6期					
			4月	6月	8月	10月	12月	2月					
納付書の人	(普通徴収)	年10期	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	9期	10期	
			6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	

65歳の誕生日がきてもすぐに年金引き落としにはなりません。年金を支給する社会保険庁が本人の現況の確認と住所地に在住していることを村に問い合わせが終了した年の10月より年金引き落としとなります。その間の徴収を納付書による普通徴収といいます。年金未受給者もこれになります。

### Q. 椎葉村の介護保険は、現在どのような運営状況なんですか？

A. 現在介護保険料を納付している方は1,280名で認定を受け介護保険を利用している方は260名程です。5名に1名が利用しています。また40歳から納付する介護保険料も運営費用の31%を占めています。納め忘れないよう注意しましょう。

### ■注意事項

年金を受給している途中で社会保険庁から**往復はがきが来ます**。これは社会保険庁に登録されている住所地と現在住んでいる住所地の確認をするものです。他市町村に住所地があるとその保険料が異なるため引き落としが停止されることになります。そうならないためにも**はがきは必ず返送**してください。

■問い合わせ先 福祉保健課 介護保険係(☎68-7513)・税務住民課 住民係年金担当(☎67-3205)



8月27日、美郷町西郷区で開催された東白杵郡民体育大会で椎葉村が2年連続となる総合優勝を果たしました。今大会は、市町村合併後に行われた5町村（椎葉村・諸塚村・美郷町・門川町・北川町）による初めての大会。  
本村は各種目で上位入賞し、男子の部でも優勝。気温30度を超える猛暑の中、多くの村民が活躍しました。各個人種目や大会の詳細については、来月号で紹介いたします。選手、役員の皆様お疲れさまでした。

**速報**  
東白杵郡民体育大会  
**椎葉村が**  
**総合優勝!**

## 第30回

# 宮崎県消防操法大会

## 椎葉村消防団本部が代表出場

8月25日、県消防学校（宮崎市）で第30回宮崎県消防操法大会が開催されました。8月5日に日向市で行われた同大会予選、日向支部操法大会「小型ポンプ操法の部」で見事優勝した本村消防団本部（上椎葉・中園騰部長）が同支部代表として出場。厳しい予選会を勝ち抜いた各支部9代表で、規律動作の正確さや標的を落とすまでの時間の早さなどを競い合った



▲県大会に出場した本部、村消防団関係者の皆さん。

結果、本部はわずかの差で4位となりました。炎天下のもと、本部を含む8代表が基準タイム45秒以内での操法というレベルの高い大会でした。

### ■日向支部操法大会結果

（8月5日・日向市小倉ヶ浜）

### 【小型ポンプ操法の部】

優勝 本部（上椎葉）

4位 5部（小崎）

### 【小型ポンプ積載車操法の部】

3位 11部（尾前）



▲見事な操法を披露した本部小型ポンプ班の鈴木康弘さん（指揮班長）、椎葉記史さん（1番員）、椎葉聖哉さん（2番員）、椎葉智成さん（3番員）。

NPO法人（特定非営利活動法人）

## 「在宅障害者の

## 福祉を考える会」発足

### 支援者を募集中

本村の小規模福祉作業所「楽らく村」（日高千寿子所長 所員11人）が、このほど「NPO法人（特定非営利活動法人）在宅障害者の福祉を考える会」（鈴木克裕理事長）を設立。今後、これまでの運営事業を継続させながら地域活動支援センターとして、障害者の自立支援を目的に幅広い活動を展開することになりました。

日高所長は「利用者側に立ったサービス提供で将来の可能性が広がった。これを機に村民の皆さんにも活動内容を広く知っていただくとともに、支えていただきたい。」と話していました。同会では9月30日に発足会、11月下旬に収穫祭を行う予定で、障害者福祉の充実につながる取り組みを目指しています。

### ■問い合わせ・申込先

「NPO法人在宅障害者の福祉を考える会（楽らく村）」

☎0982-167-2428



▲「楽らく村」の皆さん。



- 1日 五ヶ瀬町制施行50周年記念式典  
(五ヶ瀬町)
- 2日 県町村会正副長会ほか  
(宮崎市)
- 3日 椎葉矢部線知事陳情  
(熊本市・宮崎市)
- 4日 庁議 (役場)
- 5日 日向支部消防操法大会  
(日向市)
- 8日 国道388号期成同盟会総会  
(宮崎市)  
村イチゴ部会が村長へイチゴ  
贈呈
- 9日 国道388号期成同盟会陳情  
(宮崎市)  
九州選出議員会議 (大分市)
- 13日 UMKテレビ宮崎取材
- 17日 観光協会理事会  
ひえつき節日本一大会実行委  
員会
- 25日 宮崎県消防操法大会(宮崎市)
- 27日 東臼杵郡民体育大会  
(美郷町西郷区)
- 31日 オレンジタイム取材



▲イチゴを届けた村イチゴ部会  
の皆さん (8日)

# 椎葉村森林体験交流 センターの運営事業者を 募集します

椎葉村では、平成19年4月からの「椎葉村森林体験交流センター」(旧大神館)の運営事業者を募集します。



## ■運営期間

平成19年4月1日から  
平成22年3月31日まで

## ■施設の概要

### ①施設の名称

椎葉村森林体験交流センター (平成8年度建築 木造平屋建  
270.5㎡)

### ②所在地

椎葉村大字下福良字十根川 (国選定重要伝統的建造物群保存地区内)

### ③建物等の概要

展示・販売室、食品庫・用品庫、事務室、厨房、食堂、多目的室、そば道場、化粧室4箇所

■募集期間 平成18年9月11日から平成18年10月20日

■募集要項等 椎葉村企画観光課にて配布します。ただし、直接来所することが難しい場合は郵便請求(返信用封筒角2型、切手140円同封)して下さい。

■問い合わせ先 椎葉村企画観光課地域振興係

(TEL.0982-67-3203 FAX.0982-67-2825)



# 備えあれば憂いなし

## 49

### 「今度はアルコール」

椎葉村国民健康保険病院 院長

吉持 敏信 先生（外科）

村立病院では6月より整形外科に井ノ口先生、内科に永山先生を迎え今年も充実した陣容で診療に当たらせていただいております。また「辞める」といって皆様を騒がせしたにもかかわらず、「辞めるのを止めた僕」を温かく受け止めてくださった村民の皆様は僕自身ただただ感謝するだけです。



これからもよろしくお願いします。人は失うということが実感できたとき、そのものの本当の価値がわかるのですね。

さて本題です。「タバコ」「体重」ときましたから、いよいよ「アルコール」ですね。アルコールを全く受け付けない体質の方もおられます。そんな方が無理にアルコールを飲用すると急性アルコール中毒を起こしやすいと言われております。「私は、いくら飲んでも酔わない」という方でも実はその方の肝臓で処理することのできるアルコールの量は一日20g〜30gといわれています。すなわち缶ビールなら350ml缶1本、焼酎なら半分に薄めて1合。（皆さん「どちら」ではないですよ。「どちら

か」ですよ。）しかも毎日アルコールを飲むことも肝臓に負担をかけます。週に2日間、少なくとも1日はアルコールを飲まない日を設けましょう。アルコールはタバコと違って適正量（1日20gまで、つまり缶ビール350mlあるいは焼酎半分に薄めて1合を週5日間まで）であれば健康にプラスに働くといわれています。しかし先にお書きましたようにアルコールを全然受け付けない方もおられますから、飲めない方は無理に飲む必要はありません。

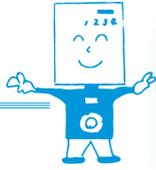
アルコールによる肝臓機能障害は、ある段階までは、アルコール飲用を適正化すれば改善します。しかしアルコール性肝硬変の段階まで進行してしまうと、その後いくらアルコール飲用を中止しても元には戻りません。アルコールによる健康障害は肝臓の障害だけではなくアルコール性膵炎、そして糖尿病、高脂血症、脳血管障害、認知症の進行など枚挙に限りありません。

昨年でしたがある小学校の先生の検診をしていたとき2年ほど

前から急に肝機能が悪くなっているのを尋ねると、「先生1年だけです。椎葉は今年で終わりですから。」という答えが戻ってきました。椎葉の飲み会は確かに楽しい。私が7年間働いたネパール・ダンテルデュラは禁酒地区でした。彼らとの食事会も楽しいものでした。椎葉の飲み会が楽しいのは決してアルコールのおかげではないですよ。アルコールなんか飲まなくても一人一人の交わりが濃いかから楽しいのですよね。

「さあ、今年は皆さんの地区でもアルコール飲用の適正化、週2日間の休肝日、またアルコールなしの飲み会」などに挑戦してみてください。皆さん失ってからでは遅いですよ。失ってしまった後でいくら健康な肝臓、健康な膵臓、健康な脳などの価値がわかって遅いですよ。大切な健康を失う前に「アルコール飲用を適正化」しましょう。

**追伸** 椎葉病院では禁煙外来について検討しています。禁煙外来に興味のある方はお気軽にご相談ください。



# 広報しいば・やまびこ通信 モニター協議会だより



## 魚つかみ取りと森林ハイク

7月29～30日、「大河内森林ガイドの会」のイベントが矢立高原キャンプ場を主会場に開催されました。村外からの参加は少なかつたのですが、大河内小の児童・保護者の参加で盛り上がりました。

魚つかみ取りは、魚を追いつむ子、待ち構えて岩の間から捕まえる子などがいて、子どもたちの賢さやしたたかさに思わず笑みがこぼれました。捕った魚は、その場でみんなで内臓を出し下ごしらえ。矢立肥育センターの見学後、みんなで焼いて夕食としました。夕食の後はキャンプファイアを行い、みんなで手をつないでゲームを行いました。翌日は、村外からの参加者をガイド。矢立コース（九州大学演習林内）を歩きました。センツキ谷の苔や、清流、さまざまな樹木の観察など、参加者は一様に感嘆の声を上げていました。

今後、大河内森林ガイドの会ではイベントやガイドを通して、都会の人々によりいっそう森林への理解と親しみを持っていただけるよう、頑張っていきたいと考えています。9月に「蕎麦打ち体験と初秋の高原散策」と銘打ったイベントを開催し、以後11月、12月と順次イベントを開催する予定です。

現在、村外からイベント等に参加された方を対象にアンケートを行っています。現在まで返ってきている回答はすべて、「とてもよかった」「また来たい」という好意的な評価ばかりです。これを励みに、さらにレベルアップした森林ガイドへ成長していきたいと考えています。

（大河内地区モニター委員 小川弘志）



## 鹿野遊地区で 夏祭り

8月20日、鹿野遊小グラウンドで「第4回夏祭りin鹿野遊」が行われました。この日は朝からあいにくの雨でしたが、祭りが始まる頃には雨も止み、魚つかみ取り大会、スイカ割りなどに子どもから大人まで楽しく過ごしました。

また、体育館においては美郷町西郷区から訪れた生バンドの演奏もあり、多くの方が焼き肉に生ビールを片手に聴き入っていました。この夏祭りには地区外からも親子連れなどたくさんの方々が来場。丸太切り、カラオケ、お楽しみ抽選会など多彩なプログラムに参加して楽しまれていたようです。

（鹿野遊地区モニター委員 川野育子）



## やまびこ通信からの お知らせ

### 「落雷にご注意!」

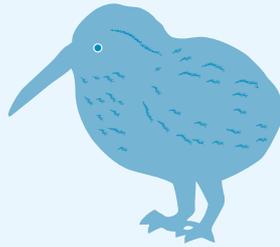
7月中旬から8月下旬にかけて村内各地で相次いで落雷被害が発生しました。家電や家屋など被害に遭われた方がおられるようですが、梶尾地区や松尾地区においては多くの家庭でオフトーク通信装置の故障が発生しました。

現在、連絡を受けた方につきましては修理の手配をしておりますが、音が聞こえない、電源が入らないなどの状況がありましたら、企画観光課（☎6713203）まで至急ご連絡ください。また、現在オフトーク通信装置が不足していますので、空き家等で不用な装置がある場合や各家庭で使用していない装置がある場合は、同様にご連絡ください。





# Kiaora



■椎葉村外国語指導助手

## Anna Dwyer

アナ ドウワヤー  
(ニュージーランド出身)

August 2006

After a week of torrential and seemingly endless rain that closed train lines and caused huge landslides making people homeless throughout Japan, Shiiba for once was spared any major dilemmas and the 'Natsu Matsuri Hanabi' (Summer Fireworks festival) was set to take place.

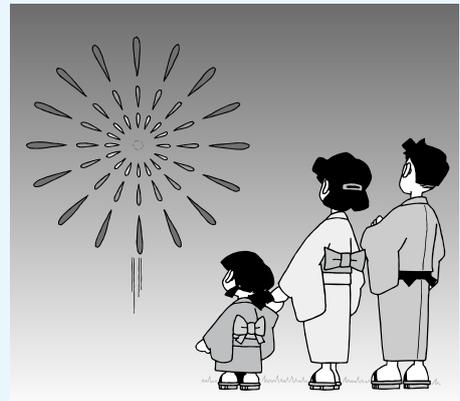
Thanks to Chika-San I was able to attend and my two friends from America and New Zealand were able to share in Shiiba's fireworks splendor together with Shiiba's people.

It was the most beautiful evening clad with stars and later Shiiba's own stars! Matsuo Chugakko's 1st graders had told me they were going and they were going to dress up in their 'yukata' for the festival. So I was delighted to see them and introduced them proudly to my friends. They all looked so beautiful!! Some of Shiiba's boys even wore 'Ginbei', how handsome they looked. I also had the opportunity to meet up with some of Shiiba's recently passed 3rd graders, now high school students. They all complained they had to study too much! It was wonderful to see them, how their eyes sparkled like the stars above.

Much later my friends and I were treated to a private concert of Shiiba's village songs. Performed by the Wakamiya Danchi Shogakko and Gidoukan choir! They are a very talented bunch of singers!

Erin my friend from the USA said Shiiba's fireworks were better than anything she had seen back home and Emily from New Zealand and I agreed.

Shiiba Son's fireworks festival was a great success! Thanks to everyone that made it happen. It was a very special night, especially for me and my friends.



2006年8月

その週はどしゃぶりと、止むことのないように見えた豪雨により、日本の至る所で電車が不通になったり、巨大な地すべりによって家を失くす人々もいたりして、椎葉も夏の花火大会にとりかかるのかというジレンマに陥りましたが、結局開催することができました。

千夏さんに連れてきてもらい、椎葉の花火大会に参加できたことに感謝しています。またその日は椎葉の人々とも、アメリカとニュージーランドから来た友達とも壮麗な花火を分かち合うことができました。

この日はまた満天の星々に覆われた最も素晴らしい夜でしたし、椎葉村にいるもう一つの星々にも出会えました。

松尾中学校1年生の生徒たちが祭りではみんな「浴衣」に着替えて参加するんだよ！と教えてくれました。ですから、友達に浴衣姿の彼女たちを紹介できて誇りに思いましたし、私自身も彼女たちの姿を見ることができてうれしかったです。なんてみんな素敵なのかしら！椎葉の男の子たちの何人かも、「甚平」を着ていて、とってもハンサムに見えました！

また、幸運なことに最近椎葉の中学校を卒業して今は高校生の何人かと会うことができました。皆、口をそろえて「勉強が多すぎる！！」と不満を言っていました。しかし彼らは本当に素晴らしく頭上の星のようなキラキラと輝いた瞳を持っていました。

その後、友達と私は、椎葉村の歌のプライベートコンサートに招待されました。若宮団地の小学生と児童館の子どもによって結成された合唱団です！彼らはとても歌の才能のある子どもたちばかりです！

アメリカから来たエリンという友達は、椎葉の花火は他の何よりも素晴らしいものだと言いましたが、ニュージーランド出身のエミリーと私も同感でした。椎葉村の花火大会は素晴らしい成功のうちに終わりました！運営して下さいましたの方々に感謝します。

私と私の友達にとっては特に特別な夜でした。

和訳：黒木睦美さん（梶尾出身）

# 椎葉の民話

84



## 「ゴキキヤム」の話

語り手 椎葉壮市さん(臼杵又)

昭和13年3月23日生まれ

昔(むかし)ゴキキヤムを聞かするわい。こげえ言(い)おつたわい。昔(むかし)、山の奥の方に山師(やまし)ども②が暮(く)らしてつて、山小屋で寝泊(ねどまり)りしよつたとなあ。ある時、親(おや)ともが、父(ちち)も、母(はは)も、山へ行(い)つて、木を伐(き)りおつたちゅうぞ。小屋(こや)にある女子(おんな)の子供(こども)が、谷川(やがわ)で、御器(ごき)③をば洗(あ)えおつたりやあ、水(みづ)に流(なが)げえつてもつて、大事(だいじ)な御器(ごき)じゃるから、と思(おも)つて、後(あと)を追(お)うつて、谷川(やがわ)におりよつたりやあ、深い滝壺(たきう)があつて、めんめいも④、谷川(やがわ)の中にはまつてしもつて、死(し)んでしもつたちゅうわい。それでその女子(おんな)の子供(こども)の、最後の「御器(ごき)の」「御器(ごき)の」ちゅう思(おも)いが、亡(な)霊(たま)となつて、夏(なつ)になれば、山の奥(おく)で、「ゴキキ」「ゴキキ」と鳴(な)く蟬(せみ)が、おつとちゅうぞ。

(聞き手 椎葉ユキ)

西南学院大 林 文香・宮本真子・森山苑子

大部志保・吉田扶希子

発端句＝昔(むかし)ゴキキヤムを聞かするわい。こげえ言(い)おつたわい。

①昔(むかし)ゴキキヤム＝昔話

②山師(やまし)ども＝山を生産(せいさん)の場所(ばしょ)にしている

人々(ひとびと)。ここでは木地屋(もぢや)。

③御器(ごき)＝座元(ざげん)で出す御膳(ごぜん)の木製(もくせい)の器(き)。慶祝(けいち)・法事(ほふし)とも使用(しよ)する。良質(りやうしつ)の器(き)は塗り(ぬり)のものもある。メシワン・シルワン・オヒラ等(ら)全部(ぜんぶ)で八種(はつしゆ)。蓋(がい)付き。ご飯(ごはん)もてんご盛り(もり)した上に釜(かま)を載(の)せている。貴重(きんじゆう)品(ひん)。ただこの昔話(むかしばなし)は木地屋(もぢや)にまつわる貴重な話(わらわ)。

④めんめいも＝自分(おれ)も

## 「ニガヒメ」の話

語り手 椎葉壮市さん(臼杵又)

昭和13年3月23日生まれ

昔(むかし)なあ ある村(むら)にあつた話(わらわ)じゃがなあ。昔(むかし)、ヒメ①を作(つく)つておつた百姓(ひやくしやう)の家に、通り(とほり)がかりの勸進(くんじん)②みたいな男(おとこ)が来て、ヒメを見て、「食(く)わしてくれんかのう」と言(い)つたりや、家の者(やまのもの)が、「これは食(く)わせるもんじゃねえ。苦(く)えもんじゃ」と言(い)つて食(く)わせんかった、ちゅうわい。そつしたりやあ、そのヒメが苦(く)つなつて、人が食(く)われんよつになつた、ちゅうがな。後(あと)で聞(き)いたら、その人が、弘法大師(こうぼうだいに)であつたちゅうぞ。それで、その二万(にまんに)ヒメは、山(やま)の中にいっぺん生(な)えておる、ちゅうわい。

(聞き手 椎葉ユキ)

西南学院大 林 文香・宮本真子・森山苑子

大部志保・吉田扶希子

発端句＝昔(むかし)なあ  
結末句＝ちゅうぞ

①ヒメ＝カシユウイモ。ヤマイモの一種(いしゆ)。食用(じよ)はマヒメ、苦(く)くて食(く)べられないものを二万(にまんに)ヒメといふ。椎葉(しいば)二子(にこ)さんによると、マヒメは、出産(しゅっさん)後(ご)これを食(く)べると産後(さんご)の肥(ひ)立ち(た)ちがよい、といふ。

②勸進(くんじん)＝諸国(しよこく)諸山(しよさん)名利(なうり)を巡(めぐ)り修行(じゆぎやう)する回國(かいこく)の修験者(じゆげん)・修行僧(じゆぎやうそう)。修行意識(じゆぎやういしやく)は熾烈(しりやく)で、本山(ほんざん)に集(あ)つての宮利(みやうり)栄達(えいたつ)を望(のぞ)まず、険峻(けんくわん)困難(くわんなん)を厭(いと)わす各地(ごち)の靈山(りやうざん)・靈場(りやうばう)また名利(なうり)を巡(めぐ)つて修行(じゆぎやう)を続ける。こつした僧侶(そうりよ)にとつて、托鉢(たくはつ)は修行(じゆぎやう)の一つ。ムラ・町(まち)に出れば、家々(かか)を回(めぐ)つて経文(きやうもん)を唱(な)えて喜捨(きだ)を乞(こ)い、頂戴(ていだい)できてもできなくても、感謝(かんしゃ)・祝福(じゆく)して去(さ)る。乞食(こじき)のことだ、といふ人もいるが、それは乞食(こじき)の中に、こつした修験者(じゆげん)・修行僧(じゆぎやうそう)を真似(まね)て人の袂(たもと)にすがる不届(ふとど)き者がいたためにおこつた全(ぜん)くの誤解(ごかい)。

(解説) 昔(むかし)から、「聖人(せいじん)」「上人(じやうじん)」と呼ばれる僧侶(そうりよ)は、皆(みな)、これと同じ修行(じゆぎやう)形態(けいぎ)だつた。自己(じこ)のみの修行(じゆぎやう)に満足(まんぞく)せず、布教(ふきやう)をこつとした名僧(なそう)も多い。例えば、法然(ほつぜん)上人(じやうじん)で説明(せつめい)すれば、本山(ほんざん)を嫌(きら)つて黒谷(くろや)の別所(べつじよ)に移(うつ)り住(す)んで修行(じゆぎやう)しているうちに、風(かぜ)を慕(たも)つて来るお弟子(おでし)も多く、親鸞(しんらん)上人(じやうじん)などもその一人(ひとり)。僧侶(そうりよ)として当然(たうぜん)あるべき国家(こくが)の礼遇(れいご)は受けず、多くの信徒(じゆたい)にたまえながら教団(きやうだん)を経営(けいぎやう)、

国家(こくが)が見捨てた一般民衆(いぱんみんしゆ)のために布教(ふきやう)していた。筑後善導寺(ちくごぜんどうじ)の聖光(せいこう)上人(じやうじん)なども法然(ほつぜん)のお弟子(おでし)の一人(ひとり)だが、信者(しんじや)・お弟子(おでし)も多く「踊(おど)り念佛(にんぶつ)」を勤(こ)めて廻(めぐ)り、多くの郷土(きやうど)芸能(げいぎん)を遺(のこ)した。京都(きよと)の智恩院(ちおんゐん)はその末寺(すえじ)である。『平家物語(へいけものがたり)』には浄土宗(じやうどしゆ)の教えが多く取り入れられている。それかあらぬか、この人の辺(へり)には平家伝説(へいけでんせつ)が多い。中世(ちゆうせい)、莊園(じやうゑん)を失(うし)つた本山(ほんざん)は、この回國(かいこく)の修験者(じゆげん)・修行僧(じゆぎやうそう)に対する認識(にんしやく)を変(か)え、回國(かいこく)の僧侶(そうりよ)たちも本山(ほんざん)を支(さ)える義理(ぎり)は心得(こころえ)でいて、ムラ人が喜捨(きだ)した品(ひん)は、貴(たか)んで一紙(いちし)半銭(はんせん)といふじも、大切(たいせつ)にして本山(ほんざん)に届け、依頼者(いらいじや)の供養(くじやう)を助(たす)ける。場合(ばあひ)によっては先祖(せんぞ)の靈骨(りやうこつ)を家族(かぞ)に代(か)わつて本山(ほんざん)に収(お)めに行く。高野山(たかのやま)の広大(くわいたい)な墓原(ぼくわら)がそれである。こつした回國(かいこく)の僧侶(そうりよ)は、回國(かいこく)の途中(ちゆうちゆう)、ムラの人々(ひとびと)の悩(なや)みごとの相談(さうだん)に預(あ)かることが多(おほ)かつた。ムラの運宮(うんみやう)の悩(なや)み、親類(しんるい)・縁者(えんじや)の揉(も)め事(こと)、尼(に)さんであれば、ムラの女(おんな)たちの、女(おんな)でなくては分(わか)らない悩(なや)み事(こと)まで聞(き)いてやつた。徳(とく)の高い僧侶(そうりよ)は乞(こ)われて留錫(りゆうせき)する。滞(た)在中(ちゆうちゆう)の衣食(いじふ)の世話(せわ)は、慕(たも)つ信者(しんじや)がした。祈念(きねん)・祈祷(きとう)に手厚(てあつ)く、医療(いりやう)技術(ぎじゆ)にも心得(こころえ)があり、世間(よこしま)をよく知(し)っているから、もの知りで、諸事(しよじ)何事(なにごと)につけも詳細(しんじゆう)。時流(じりゆう)をよく読(よ)んだ親切(せんせつ)な指導(しゆどう)で、占(う)いはもとより、上(う)は天文(てんぶん)、下(くだ)は地理(ちり)、至(いた)らざるはなく、農事(のうじ)の教(きょう)えも的確(とくせつ)。結果(けつこ)としてムラ人(むらびと)から徳(とく)を慕(たも)われ、宗教的(しゆじやくてき)に尊敬(そんけい)を一身(いつしん)に集(あ)めて、人徳次第(にんとくしだい)のことだが、晩年(ばんねん)は「指導者(しゆどうじや)」として、ムラに迎(むか)えられて、留(とど)まることになる僧侶(そうりよ)・修験者(じゆげん)が多(おほ)かつた。

(西南学院大名誉教授 山中耕作)

# カメラさんぽ

▶ 迫力で観衆を圧倒した  
上椎葉ダムから打ち上げられた花火。



## 椎葉夏祭り花火大会

7月29日、椎葉中グラウンドで第15回椎葉夏祭り花火大会が行われました。会場には村内外から千人を超す人が訪れ、村内外の太鼓4チームと三味線奏者の勇壮な演奏など多彩な催しを楽しみました。中でも、椎葉村の子どもたちによる太鼓演奏や五ヶ瀬中等教育学校の生徒による太鼓演奏と「ヨサコイソーラン」踊りは、会場を沸かせました。

また、恒例の上椎葉ダム堰堤から打ち上げられた花火2千発は、色鮮やかな大輪の花火と山々にこだまする大音響の迫力で、会場や周辺にいた多くの見物客を圧倒していました。

## 「八菜館しいば店」オープン

8月10日、上椎葉地区に農産物直売所「JA日向八菜館しいば店」がオープンし、登録する団体や個人83人が生産した農産物や加工品の販売を開始しました。すべて村内産の野菜や花、加工品など100種類以上の品揃えに、お盆前とあってレジを待つお客さんが数十人の列をつくり大盛況となりました。特にホウレンソウやミズナなど椎葉ならではの高冷地野菜、薬物野菜が大人気。椎葉産という安心感と市場より安い価格ということもあり、飛ぶように売られていました。

同店は安心・安全な農産物を地元で消費（地産地消）すること、また需給バランスに応じた調整出荷ができる施設として期待されています。



▲生産者の顔の見える販売、地産地消を目指す「八菜館しいば店」。

## 伝統の焼畑体験学習

8月1日、尾向小で第18回子ども焼畑体験学習が行われました。今年は、椎葉調一さん（向山日添）の協力で提供された同集落の山林20アールの斜面で実施。同小6年の尾前駿君を代表に「このやばに火を入れ申す。へび、わくど、虫けらども、早々に立ち退き給え。」と昔ながらの作法と口上で神事を行った後、保護者の指導のもと火入れを行いました。

火が完全に消えた約2時間後、ソバの種蒔きを行うなど児童と保護者は汗をいっぱいかきながら急斜面で一連の作業を体験。地元で長年受け継がれてきた伝統農法を学びながら11月に行うソバ打ち体験と試食を行う収穫祭が楽しみとのことでした。



▲地域の協力で伝統農法を学ぶ尾向小児童。

## 村内小学生が交流キャンプ

8月3～4日、ひえつきの里キャンプ場（桑弓野）で村内の小学生が参加して「かて～りの里ふれあいキャンプ」が行われました。このキャンプは、自然の中での野外活動を通して子どもたちの創造性と心の豊かさを育成しようと椎葉村子ども会（右田朝生会長）が主催。夏休み中の小学3～6年生の40人が参加しました。

班ごとに別れた子どもたちは、まず自分たちが寝泊まりするテントを協力し合いながら設営。その後、交流を深めながら竹の食器作り体験やキャンプファイア、ネイチャーゲームなどを楽しみました。大自然に囲まれたキャンプ場には、生き生きとした子どもたちの歓声が響いていました。

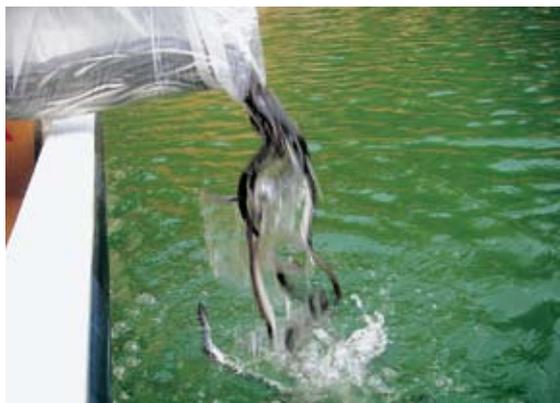


▲自然あふれるキャンプ場に自分たちでテントを設営。

# 春夏秋冬 まるごと椎葉

## 寄贈されたウナギを放流

8月9日、県養鰻漁業生産組合（株）大森淡水代表 大森伸昭組合長より、台風の影響で魚が激減した県北の3河川にウナギの寄贈がありました。本村にも約60kgが届けられ、同日、美郷町南郷区で行われた贈呈式に尾前一好組合長が出席しました。組合長が同生産組合関係者に感謝の言葉を述べ、その後耳川の上流に位置する上椎葉ダムで船による放流を行いました。今年度、村漁業協同組合も240kgのウナギの放流を行いましたが、今回の放流と合わせて、本来の椎葉の河川環境が早期に復元されることを願う次第です。



▲上椎葉ダムに放流されたウナギ。

## 尾向溪谷まつり

8月15日、尾向地区で第21回尾向溪谷まつりが行われました。メインイベントの釣り大会は、ヤマメやマスを事前に放流した尾前川上流で実施。県内外から多くの家族連れや釣り愛好家が参加して、大自然の中での溪流釣りを楽しみました。

また、夕方から尾向小グラウンドで行われた「溪谷の夕べ」では、子ども神楽の披露や花火大会など多彩な内容に、地域の方や多くの帰省客が会場を訪れ、夜遅くまで賑わいました。



▲数十匹も釣り上げた方がいた釣り大会。

## 平家まつりの主役決定！

8月17日、役場で行われた村観光協会の理事会で、「椎葉平家まつり2006」の主役となる那須大八郎、鶴富姫、観光しいばの3人に観光協会会長の椎葉晃充村長より認定証が手渡されました。

今年11月10～12日に行われる椎葉平家まつり2006に参加するほか、鶴富姫と観光しいばの2人は今後1年間、各観光イベントにも参加し、本村の観光PRに努めていただきます。

- 那須大八郎 椎葉公之さん（26歳：向山日添）
- 鶴富姫 椎葉庄子さん（24歳：桑ノ木原）
- 観光しいば 那須智美さん（22歳：十根川）



▲右から椎葉公之さん、椎葉庄子さん、那須智美さん。

## ミニトマト出荷が最盛期

8月下旬、村内の園芸農家でミニトマトの出荷が最盛期を迎えました。那須利雄さん（76歳、古枝尾上）宅では、猛暑の中、奥さんの朝香さん（72歳）とともに出荷作業に追われていました。同宅では3棟5アールのハウスでミニトマトを栽培。7月末から出荷が始まり今がピークで、七草の栽培を始める10月下旬まで続くとのこと。今年は長かった梅雨の影響で日照時間が短く、今のところ昨年よりやや収穫が少ないとのことですが、それでも2トン以上の出荷量を見込んでいます。栽培歴は18年。高齢になり連日の作業も大変になったそうですが、生産が安定しているミニトマト栽培は魅力的なので、まだまだ現役で取り組んでいきたいと同夫妻は話されていました。



▲出荷作業で大忙しの那須利雄・朝香さん夫妻。

る強制保険です。自賠責保険の限度額は、交通事故の被害者に対する最低保障という考え方で決められており、実際の損害はこれを越えることもありますので、任意保険（共済）にも加入することをお勧めします。なお、無保険（無共済）車の運行はドライバーの基本マナーに反するばかりでなく、罰則の対象となります。特に車検制度のないバイク、原動機付自転車は「期限切れ」「かけ忘れ」にご注意ください。

#### ■自賠責支払限度額

死亡	3,000万円
傷害	120万円
後遺障害	

- ①介護を要するもの  
3,000万円～4,000万円
- ②その他  
75万円～3,000万円

#### ■問い合わせ先

国土交通省九州運輸局 宮崎運輸支局  
(☎0985-51-3952)

## 募 集

### 子育てを応援する 企業や店舗等の募集

県では、子育てに安心と喜びを実感できる社会づくりを目指して、宮崎県次世代育成支援対策推進協議会と共同で、子育てを応援する企業、事業所、店舗、各種団体などを募集しています。

#### ■募集内容

次の取り組みをしていただける企業など

- ①子育て応援宣言
- ②仕事と家庭の両立応援宣言
- ③子育て応援サービスの提供

#### ■宣言の公表、サービスの開始

平成18年10月～

#### ■問い合わせ先

①・③県庁児童家庭課  
(☎0985-26-7057)

#### ②県庁労働政策課

(☎0985-26-7106)

### 第61回「児童福祉週間」 標語の募集について

国では、子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的に、毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「児童福祉週間」と定めて、児童福祉の理念の普及・啓発のための各種行事を行っています。来年度においても「次世代を担う子どもたちからの発信」をテーマとして、各種事業及び行事の取り組みを進めて行くこととしており、その象徴となる標語の公募を行います。

#### ■募集内容

テーマ「時世代を担う子どもたちからの発信」元気でがんばる子どもたちを応援する標語や、未来にむけての子どもたちからのメッセージとなる標語を募集します。

#### ■応募資格 不問

#### ■応募方法

- ①ハガキ、封書、またはファクシミリ用紙に標語、郵便番号、住所、氏名（フリガナ）、年齢、職業、性別、電話番号を記入して下記まで送付して下さい。（応募先に直接持ち込み可）  
1人何点でも応募可。ただし応募用紙1枚につき1作品のみ。
- ②インターネットによる応募も実施。こども未来財団ホームページ内の「応募フォーム」に作品の他、氏名等の必須事項を記入して送信して下さい。

#### ■応募先

〒105-0003  
東京都港区西新橋3-3-1  
西新橋TSビル8F  
財団法人こども未来財団  
「標語募集」係宛  
ファクシミリ番号  
03-6402-4830  
<http://www.kodomomiraidan.or.jp/>

#### ■注意事項

未発表の作品に限ります。応募

作品は返却しません。著作権は主催者に帰属します。

#### ■応募期間

平成18年9月1日（金）～  
平成18年10月31日（火）必着

#### ■発表

こども未来財団ホームページ上にて平成19年1月上旬に発表予定。入賞者には直接ご連絡いたします。

#### ■主催者

厚生労働省  
(財)こども未来財団  
(社福)全国社会福祉協議会

### 「川や海の応援団」 募集中

宮崎県では、一定区間の河川や海岸のボランティア美化活動に取り組んでいただける団体等を「川や海の応援団」として募集しています。

「川や海の応援団」になっていただいた団体等には認定証を交付し、翌年度には前年度の活動実績を踏まえてコンテストを実施し、優秀活動団体等を知事表彰します。県からは活動に必要な資器材の提供・傷害保険への加入等を行います。

#### ■問い合わせ先

・宮崎県土木部河川課 水政担当  
(☎0985-26-7184)  
・宮崎県土木部港湾課 港政担当  
(☎0985-26-7188)



# お知らせ

9月

- 椎葉村ホームページ  
http://www.vill.shiiba.miyazaki.jp
- 広報Eメールアドレス  
tadataka@vill.shiiba.miyazaki.jp

村内の動き ●8月1日現在  
 男 1,705人(+5)  
 女 1,717人(+5)  
 計 3,422人(+10)  
 世帯数 1,281戸(+3)

## お知らせ

### 9月の納税について

9月は、国民健康保険税（4期）の納税月です。期限内(10月2日)までに納付していただきますようお願いいたします。また、その他公共料金等も納期内納付にご協力ください。

#### ■問い合わせ先

役場税務住民課  
(☎67-3205)

### 合同相談の開催について

行政相談委員・人権擁護委員・心配ごと相談員の三者合同相談が次のとおり行われます。どんなことでもけっこうですので、気軽にご相談ください。

#### ■日時

10月13日(金) 10時~15時

#### ■場所

椎葉村高齢者センター

### 9月は健康増進普及月間・がん征圧月間・結核予防週間

9月は「健康増進普及月間」、「がん征圧月間」です。また9月24日から30日までは「結核予防週間」

となっています。

健康づくりには、まず「自分の健康は自分で守り、自分でつくる」という自覚を持つことが大切です。この機会に日頃の生活習慣を見直すとともに健康診断を受け早期発見・早期治療に努めましょう。健康づくりの主役はあなたです。

#### ■問い合わせ先

(財)宮崎県健康づくり協会  
(☎0985-38-5512)  
村福祉保健課 保健予防係  
(☎68-7510)

### 全国労働衛生週間について

今年も9月1日~9月30日までを準備期間として、10月1日~10月7日までの期間に「疲れてませんか 心とからだ みんなでつろう 健康職場」をスローガンに実施されます。期間中は県内すべての事業場において、職場の労働者の健康を確保するために労働衛生活動の総点検を行うようお願いしていますので、快適な職場環境の形成等にぜひご協力ください。

#### ■問い合わせ先

宮崎労働局労働基準部安全衛生課  
(☎0985-38-8835)

### 身体障害者補助犬の貸与について

県では、身体障害者の自立と社会参加を促進するため、次のとおり無償で身体障害者補助犬を貸与しています。

1. 貸与を受けることができる方
  - ①県内に概ね1年以上居住する18歳以上の方で次のいずれかの状態にある方
  - ・視覚障害1級の身体障害者手帳の交付を受けてる方又はこれに準ずる方
  - ・肢体不自由1,2級の身体障害者手帳の交付を受けてる方又はこれに準ずる方
  - ・聴覚障害2級の身体障害者手帳

の交付を受けてる方又はこれに準ずる方

- ②所定の訓練を受け、身体障害者補助犬を適切に利用し、飼育できる方
- ③身体障害者補助犬を使用することにより就労等社会活動への参加に効果があると認められる方

2. 歩行訓練について  
 身体障害者補助犬の貸与を受けの方は、県が委託した訓練施設において約1ヵ月間、身体障害者補助犬との訓練を受けていただきます。なお、盲導犬につきましても、以下の施設から希望施設を選んでいただきます。

- ・財団法人アイメイト協会（東京都練馬区関町北5-8-7）
- ・財団法人関西盲導犬協会（京都府亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-2）
- ・財団法人福岡盲導犬協会（福岡県前原市大字東283-1）

#### 3. 経費について

身体障害者補助犬の購入及び訓練に要する経費については、県が負担しますが、訓練施設までの旅費、訓練期間中の本人の食費、貸与後の経費（飼育費等）は本人負担となります。

#### 4. その他

貸与者については、選考のうえ決定されます。

#### ■申込み・問い合わせ先

- ・村福祉保健課 福祉係  
(☎68-7513)
- ・宮崎県障害福祉課  
(☎0985-32-4468)

### 「期限切れ」「かけ忘れ」に注意！ 自賠責制度(自動車損害賠償責任保険)

自賠責保険(共済)は、万一の交通事故に対する基本的な対人賠償を目的として、バイク・原動機付自転車を含むすべての自動車の保有者に加入が義務づけられてい

# 戸籍だより (7月分)

## 出生 おめでとぅ

椎葉 悠ちゃん  
(向山日添) 洋平・百恵さん

内海 由歩ちゃん  
(本郷) 泰弘・里花さん

椎葉みなみちゃん  
(向山日当中) 貴幸・幸子さん

友寄 優姫ちゃん  
(臼杵又) 貴志・千智さん

## 死亡

ご冥福をお祈りいたします

椎葉 タカ様 (九十三歳) 小河内

椎葉 きみ様 (九十五歳) 針金橋

若本 俊之様 (六十五歳) 佐礼住宅

鈴木 孝哉様 (七十三歳) 上椎葉上2

故人の遺志を尊重し活用させていただきます

故 椎葉 きみ様 (針金橋)

故 渡邊 辰夫様 (雨木)

故 椎葉 タカ様 (小河内)

故 鈴木 孝哉様 (上椎葉上2)

## 10月の主な行事とお知らせ

1日 小学校秋季運動会

(村内各小学校)

3日 3種混合予防接種 (病院)

村民体育大会

8日 (村総合運動公園)

10日 MR・麻疹予防接種 (病院)

14日 女性のつどい

椎葉郷土芸能の夕べ

(椎葉民俗芸能博物館4F)

17日 風疹予防接種 (病院)

21日 村スポーツ少年団さわやか

秋季大会

椎葉郷土芸能の夕べ

(椎葉民俗芸能博物館4F)

22日 村内一斉清掃

中学校文化祭

24日 胃ガン検診

(〜25日) すこやか館

3種混合予防接種 (病院)

27日 戦没者追悼式

(村開発センター)

28日 日向・郡南中学校駅伝大会

椎葉郷土芸能の夕べ

(椎葉民俗芸能博物館4F)

31日 妊婦相談・乳児健診・BCG

(すこやか館)



**長** 雨が続きましたが、ふる里  
椎葉村は被害はありません  
でしたか。粗末な我が詩を投稿い  
たします。

(神奈川県横浜市 右田畠住)

題 花筏

去り行きし、みな去り逝きし見覚えの  
路傍の石に、涙ぐむ

仲良しだった友と見た

想い出遠き古里の

祖母達も見る

父母も見た

みんなで見えた石道標

刻みし人の名も知らずして

訪ね行く、友の生まれた里の村

標すは三里と、此処からは

日暮れの前の峠道

草鞋を履いた牛連れの

日焼けの顔の眼差しに、

易しい道を選ぶなど、

爺の教えの杖の音

その傍らの、花いかだ、茂みの中の

道標見て

**残** 暑お見舞い申し上げます。  
椎葉の榎尾公民館から毎月

発行の「榎尾ルネッサンス」とい  
う新聞を受けております。榎尾地  
区はたくさんの黒木さんで、榎尾  
はまさに字黒木ですね。先月の大  
雨ではどうでしたか？ またお便  
り出します。

(東京都杉並区 及川圭右)

**昨** 年は台風前の「自然の美し  
さ」と台風後の「恐しさ」  
を実感しましたが、今年はいベ  
ントを見たい」ということで7月

29日「椎葉夏まつり花火大会」を  
見に行きました。午後6時にグラ  
ンドの一番前の中央に座ってイベ  
ントを見ました。各太鼓グルー  
プの演奏は、各々のリズムがあつて  
迫力がありました。あれだけ間近  
で見たのも初めてだったので感動  
も大きかったです。あと五ヶ瀬の  
グループ「よさこいソーラン」も  
北海道好きの私の血が騒ぐほど切  
れがある踊りも良かったです。イ  
ベントの合い間の「餅まき」も私  
は8袋ゲットしましたが、ビニ  
ール袋いっぱいゲットした人を見  
て「すごいなー」と感じました。

また今年初めて見る山里の花火  
は、とてもきれいで見入ってしま  
いました。やはり花火を見ている  
と心が和みますね。私にとってこ  
のイベントは心の中に残る素晴ら  
しいものでした。来年も見たいと  
思います。これから「椎葉平家ま  
つり」も見たいと計画中です。

(神奈川県寒川町 木村 啓)

# しいば俳句会

選評・角 光雄先生（あじろ主宰）

## 《特選》

大杉の夏空高くそびえけり

那須 瑞穂

〔評〕十根川神社の境内にある八村杉だろう。いつも見馴れているが、猛暑の空に立つ姿は存在感がある。秋も冬も杉は立つ。しかし大杉の充実感夏のものだ。単純な表現がかえって好ましい。

今朝秋の遠く裾引く尾鈴山

中瀬 汀

〔評〕この山、私は知らないが、山裾が左右にのびる美しい山容であると想像する。「今朝秋」とは立秋の朝のこと。山を遠眺するにはふさわしい日である。

ふるさとの民話の本や昼寝覚め

小丸川河童

〔評〕昼寝から覚めると、民話の本が半開きのまま胸の上にあつたという。民話から誘いこまれる昼寝とは羨ましい限り。さて、夢の端に鶴富姫が出てこられたかな。

## 《入選》

菩提寺へ布施いささかや秋の蝉

中瀬 汀

雨上る後の静けさ夜の秋

黒木八重子

玉音に泣きし日の夏十五歳

戸部 好郎

向山土手の坂道彼岸花

那須 正

一点となりゆく飛行機雲の峰

小丸川河童

かばかりの酒に酔いたり遠花火

山本 和枝

玄関のインターホンから蝉しぐれ

山本 和枝

夏草に口塞がれし登り窯

山本 和枝

耳川の流れの音に昼寝かな

山本 和枝

それぞれに色を競いて山の百合

山本 和枝

干草のしとねで仰ぐ空の青

山本 和枝

耳川のうねりうねって戻り梅雨

山本 和枝

俳句募集!!どなたでも投句できます。毎月10日までに気軽に企画観光課へ

送ってください。(郵送・FAX可)

## 日向東白杵

### 南部圏域情報

#### 「日向十五夜祭り」

毎年中秋の名月に行われる「十五夜さん」。見立細工や花屋台が奉納され、日向市あげての舞踊隊が繰り出すこの祭りは、富高八幡宮の祭礼がそのルーツとされています。



富高八幡宮の創建は約800年前。壇ノ浦の戦い後、椎葉に逃げ落ちた平家を追ってきた那須与市、工藤祐経の2人の武将が鎌倉にある鶴ヶ岡八幡宮から勧請して社を建て、兵の士気を鼓舞したのが始まりといわれています。その後、地元民によって五穀豊穡への祈りと収穫への感謝をこめた祭りが続けられ、現代まで引き継がれています。今年も次々とおり開催されますので、ぜひお越しください。

富高八幡宮の創建は約800年前。壇ノ浦の戦い後、椎葉に逃げ落ちた平家を追ってきた那須与市、工藤祐経の2人の武将が鎌倉にある鶴ヶ岡八幡宮から勧請して社を建て、兵の士気を鼓舞したのが始まりといわれています。その後、地元民によって五穀豊穡への祈りと収穫への感謝をこめた祭りが続けられ、現代まで引き継がれています。今年も次々とおり開催されますので、ぜひお越しください。

- 日時 平成18年9月9日(土)、10日(日) 13時～21時
- 場所 日向市中心市街地、日向十街区パティオ特設ステージ
- 内容 御神輿巡業・総踊り・見立て細工・十五夜太鼓ほか
- 問い合わせ先 日向十五夜奉賛会

(0982-52-5131)

## 「みんなの声」を募集しています!

この「コーナー」では皆さんの椎葉への想い、「広報しいば」の感想などを募集しています。どんなことでも結構ですので気軽にお寄せください。なお、ペンネームやEメールでの投稿も受け付けます。

〒883-1601  
宮崎県東臼杵郡椎葉村下福長1-47-20  
椎葉村企画観光課「広報しいば」係  
(FAX可) 0982-67-2882(5)

## 今月の表紙 Cover Message



太鼓や桶などの木工芸の名人、椎葉治美さん(75歳)・松子さん(73歳)夫妻。山師を引退後、父親から習った白太鼓製作がきっかけで本格的に木工芸を始めたという治美さん。今では評判を聞きつけた県内外の方から太鼓の製作や修復、桶・木樽の注文が殺到。山師の経験を生かし、自分で切ってきた木から製作する木工芸が生きがいになっているとのこと。

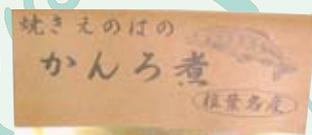
## 編集後記

Editor's Comment

▼早いもので昨年の台風14号災害から1年。マスコミ各社から現在の復興状況について取材が相次いでいます。▼11月10日からの「椎葉平家まつり」まであと2ヵ月。まつりの主役鶴富姫など3人も決まり、準備が急ピッチで進められています。3年ぶりの開催ですので、皆さんが本当に楽しめるイベントとなるよう村全体で盛り上げていきたいと思います。(正)

おすすめの一品

「焼きエノハのかんろ煮」



■生産者  
松尾養魚場（椎葉美津子）

■価格と内容

・1パック（ヤマメ5匹入り） 1000円

清流に棲むエノハ（ヤマメ）をこだわりを持って育て、炭火で長時間乾燥させた後に独自の製法で味付けしました。甘露煮なので柔らかく、そのまま丸ごと食べられます。椎葉で育ったエノハなのでお土産としても最適です。ぜひご賞味ください。

■問い合わせ・販売先

椎葉村物産センター「平家本陣」

☎0982-67-3139

FAX 0982-67-3144



カキノキ科カキノキ属の落葉高木。椎葉の山里は9月に入ると朝晩に秋冷を感じる時節になります。この時期、集落に近い谷間から中腹にかけての二次林中に、径2cm程の小型の柿が黄色く色づいているのを時々見かけます。これがシナノガキ、別名リュウキュウマメガキで、果実は霜にあうと黒紫色に変色します。タンニンを多く含有するため食用になりませんが、未熟な果実からは柿渋が取れます。和名のシナノは信濃で長野県を、別名のリュウキュウは沖縄を表しており、本村では「山柿」の名で親しまれています。高さ10m、直径30cm程になり、樹皮は暗褐色です。葉は長さ8～15cmの大型楕円形で鋸歯はなく、表面は濃緑色、裏面は粉白色です。雌雄異株で淡黄緑色の小花が葉腋に付きます。材は緻密で心材が黒褐色を呈し、工芸的に利用されます。関東以西の本州、四国、九州、沖縄、中国中部に分布します。

（九州大学宮崎演習林 内海 泰弘・井上 晋）



未来にはばだけ！



椎葉 結名 ちゃん  
(城)

平成16年10月1日生まれ  
おとうさん：清吉さん  
おかあさん：直子さん

2人のお姉ちゃんにもまれて…おてんばになりました。いつまでも姉妹仲良く、思いやりのある優しい子に育ってね！



田ノ上和希 ちゃん  
(下屋敷団地)

平成16年9月26日生まれ  
おとうさん：高志さん  
おかあさん：哲代さん

いつも元気いっぱい、おどりと水遊びが大好きな和希くん。いつまでも笑顔を絶やさず、みんなを和ませてくださいな。

Face in September

椎葉 千保さん (桑ノ木原：写真左)  
右田 ルミ子さん (川ノ口：写真右)

勤務先：JA日向  
「八菜館しいば店」

8月10日にオープンしたばかりの「八菜館しいば店」で働いています。これから村民の皆さんよろしくお願ひします。当店には、村内の方々が生産した新鮮な農産物や加工品がたくさん揃っています。安く安心して安全な品物ばかりですので、いつでも気軽にお越しください。

